

グループワーク成果報告

【テーマ：農地や土地改良施設の多様な活用可能性を考える】

【今回のグループワークの狙い】

今回、受講者（指導員）の皆様には「農地・土地改良施設の多様な活用」に向けた地域活動について考えて貰いました。あらかじめ活動は『A. 農業における使用機能(本来的な中核機能)を高める農地・施設の活用』と、『B. 農業以外での使用機能(多面的な機能)を広げる農地・施設の活用』の二つの観点で分けてあり、受講者はグループ作業を通して多様な地域活動が抽出します。その後、これらの活動のうち実現が最も困難を伴うと思うものをグループごとに一つ選びその実践要件を考えました。

【グループワークの作業状況および各班検討内容の概要】

研修のグループワークでは講師のわかりやすい指示のもと、年齢や職位の上下なく全受講者が意見交換を行いました。各班で作成の検討作業シートの特性をまとめると次のようになります。詳細は次ページ「今回のグループワークの狙いと3つの班の成果のまとめ」で解説します。

- 第1班：全ての活動分野への斬新な新たな活動の提案と、実践が難しいとした「休耕田でのコイの放流」の活動要件は、実経験に基づいた堅実な洗い出しをしています。
- 第2班：農地・土地改良施設を活用し「楽しむ」ことに新たな提案が多くあり、最も実践が難しいとした「農地での野菜アート（野菜生け花）」という全く未経験の内容に対し、実践的な要件提案があったほか、人をどう絡めるかという課題も要件に挙げています。
- 第3班：活動実践者ならではの土地への愛情を感じさせる新たな活動の提案があり、実践が難しいとした「沼でのブラックバス駆除」に対して実現性の高い要件がまとまっています。



●今回のグループワークの狙いと3つの班の成果のまとめ

今回のグループワーク（以下、GW）では、「農地・土地改良施設の多様な活用」に向けた地域活動について考えて貰いました。そこでは大きく『A. 農業における使用機能(本来的な中核機能)を高める農地・施設の活用』と、『B. 農業以外での使用機能(多面的な機能)を広げる農地・施設の活用』の二つの観点を念頭に置いています。その結果、参加者の皆さんのグループ作業を通して多様な地域活動が抽出されました(表1参照)。また、これらの活動のうち実現に最も困難を伴うと思うものをグループごとに一つ選びその実践要件を考えて貰いました(表2参照)。

今回のグループワーク成果は、その活用を図るため、表1、2とも3つのグループの全成果(記述付箋)を改めて事務局で再整理してあります。そこから見出される統合的な情報(表1は全欄/表2は特に最下段)については、今後『中山間ふるさと活性化事業：集落共同活動/直営施工支援』の導入を考える地域があれば、その際の参考にして頂ければと考えています。ただし、それぞれの活動が支援条件に適合するかどうかの決定には県担当者による活動内容のチェックが必要になります。

表1 「農地・土地改良施設の活用可能性」検討作業シート/【検討課題】農地・土地改良施設の多様な活用に向けた地域活動について考える

『農地・土地改良施設の多様な活用』に向けた地域活動…(GWでの質問：地域に有効と思う活動を具体的にあげて下さい)			○印がGWで出た意見…①:1班/②:2班/③:3班の意見		
A. 農業における使用機能(本来的な中核機能)を高める農地・施設に対する対応活動(=当該空間整備管理)			B. 農業以外での使用機能(多面的な機能)を広げる農地・施設に対する対応活動(=当該空間の他分野活用)		
A1 施設の整備強化	A2 施設・施設周辺の保全と管理	A3 休耕地の復興(農地としての保全)/農地機能の保持強化	B1 学びの場としての活用	B2 遊び・親睦の場としての活用	B3 其他の効用の場としての活用
【直営施工】 ○地域住民で直営施工① …………… 【施設機能強化施工】 ○土水路のコンクリート化② …………… 【転落防止柵設置】 ○水路脇、周辺への転落防止柵の設置② …………… 【注意看板設置】 ○立看板の設置①	【除草・草刈り・清掃】 ○地域の美化…草刈、清掃③ ○除草・草刈・清掃② ○水路周辺の草刈り③ ○(魚道)等の施設とその周辺の清掃① …………… 【同上_省力化対応】 ○やぎによる除草① ○畦などのシバ、コケ化…草刈り→シバ地、ラウンドアップ→コケ化③ …………… 【植栽】 ○植栽② ○用水路沿いへの植栽③ ○農道横への植栽③ ○地域の美化…花植え③	【休耕地での景観作物栽培】 ○休耕地での景観作物…ひまわり栽培、コスモス② ○菜の花栽培② ○休耕地での彼岸花栽培② …………… 【休耕地の農園化(作物栽培)】 ○休耕地の農園化(集約化)① ○休耕地の農園化_2名/②③ ○休耕地での野菜づくり…直売所で③ …………… 【休耕地での淡水魚放流・養殖】 ○休耕地へコイの放流① …………… 【水田の地下水涵養機能保持】 ○水張り休田③	【土地改良施設の見学・学習】 ○施設見学バスツアー① ○水田での水路の役割の学習② ○農業水利施設見学…小学生、地域外の方も(食と農体験)③ …………… 【生き物観察等の自然学習】 ○生きもの観察③ ○ため池で生きもの観察③ …………… 【農業体験】 ○農業体験…観光客への体験提供① ○農業体験…田植、稲刈③ ○農業体験…近代農業(機械化)と少し前の農業(田植え)を比較体験② ○農業体験…そばの栽培②	【水路や田を活用した親睦活動】 ○水路活用…ため池と水路を活用した魚のつかみどり① ○どろ田での魚のつかみ取り② ○どろ田での生物のホカク① …………… 【農地等使用の展示・鑑賞活動】 ○農地での田んぼアート① ○農地での野菜アート(野菜生け花)② …………… 【農地等を運動の場として使用】 ○水田をスケートリンクとして利用① ○サイクリング③ …………… 【農地等をペット運動場に使用】 ○休耕地をドッグランとして利用①…ペットの運動の場	【農空間を探訪の場として活用】 ○見学③ ○農村空間点検…軽トラの後ろに乗って農地を走る② ○農村空間でお絵かきウォーク② ○里山散歩…一年中/雪原歩き③ …………… 【自然・生態系の場として維持】 ○ホテルのビオトープ① ○沼でのブラックバス駆除③ …………… 【自然エネ発電の場として活用】 ○風力発電③

表2 「農地・土地改良施設の活用可能性」検討作業シート／【検討課題】上記活動のうち実現に最も困難を伴うと思う地域活動の実践要件について考える

『農地・土地改良施設の多様な活用』に向けた地域活動実践上の要件… (GWでの質問：最も困難を伴うと思う地域活動を実施する場合の要件をあげて下さい) ○印がGWで出た意見			
ア. 活動主体／支援主体	イ. 活動手段(物資、資材)	ウ. 活動情報	エ. その他の活動要素
1 班が選んだ高難度活動…休耕田へ魚の鯉の放流			
<p>【活動参加者に係る要件…参加数】</p> <p>○活動参加者多く地域住民の参加が必要</p> <p>【活動スタッフに係る要件…人材・能力】</p> <p>○魚に詳しい人</p> <p>【参加者・スタッフ以外の協力者要件…専門業者】</p> <p>○おろし先（活用方法）</p>	<p>【作業・労役対象“用水”の要件…取水権対応】</p> <p>○水（取水権）</p> <p>【同上…水管理】</p> <p>○水管理が必要</p> <p>○汚水を防ぐ</p> <p>【同上…水の量・水源確保】</p> <p>○水が豊富な事</p> <p>○湧水、沢水が必要</p>	<p>【活動時遵守規定に係る要件…リスクケア規定】</p> <p>○万が一のため参加者、スタッフに保険をかける</p> <p>【発信のための情報要件…媒体】</p> <p>○村の公報での周知</p> <p>【発信のための情報要件…発信対象】</p> <p>○観光利用するための情報発信</p> <p>【活動学習・参照のための情報要件…必要知識】</p> <p>○飼育に関する知識／○動植物に関する知識</p>	
2 班が選んだ高難度活動…農地での野菜アート(野菜生け花)			
<p>【活動スタッフに係る要件…人材・能力】</p> <p>○園芸のプロが必要</p> <p>○野菜等の知識を持っている人が必要</p> <p>○測量できる人が必要</p> <p>【参加者・スタッフ以外の協力者要件…専門組織】</p> <p>○地域活性化事業団体（トランゼクションメモリー・トランザクティブメモリー…誰が何の能力を持っているかの情報…を集積する団体）</p> <p>【活動を母体的に支える主体要件…関心層】</p> <p>○賛同者の確保／○興味</p>	<p>【作業手段に係る要件】</p> <p>○ディスプレイ資材</p>	<p>【活動プラン・プログラム要件…展示後プラン】</p> <p>○アートで展示したあとどうするのか決めるのが必要→収穫体験・食べる？・配る？</p> <p>【活動プラン・プログラム要件…イベントプラン】</p> <p>○来場者参加型イベント</p> <p>【発信のための情報要件…媒体】</p> <p>○情報内容がわかる公報の発信</p> <p>【活動学習・参照のための情報要件…必要知識】</p> <p>○知識／○各野菜の栽培に関する知識が必要</p>	<p>【活動場所に関する要件】</p> <p>○畑の基盤条件が重要</p> <p>○用地の選択が必要</p>
3 班が選んだ高難度活動…沼でのブラックバス駆除			
<p>【活動スタッフに係る要件…人材・能力】</p> <p>○専門家が必要</p> <p>【参加者・スタッフ以外の協力者要件…地域主体】</p> <p>○地権者の理解</p> <p>○町内会、学校の協力</p> <p>【参加者・スタッフ以外の協力者要件…協賛組織】</p> <p>○TV番組の活用・溜池の水抜き</p> <p>【活動を母体的に支える主体要件…協働体制】</p> <p>○地元>市民>行政</p>	<p>【作業・労役対象“用水”の要件…水の収支管理】</p> <p>○水の収支…干す？→魚などの退避</p> <p>○用水復旧（確保）が大事</p>	<p>【活動時遵守規定に係る要件…生息生物対応規定】</p> <p>○在来種の保存</p> <p>○ブラックバス・外来種の処理方針</p> <p>……………</p> <p>【発信のための情報要件…啓発情報】</p> <p>○生態系の重要性アピール（行政、広報の利用）</p> <p>……………</p> <p>【情報共有に係る要件…関係者周知】</p> <p>○関係する人々への説明</p>	
活動要件に関して1～3班成果に共通する事柄			
<p>●活動に係る主体としては、『参加者』、『活動スタッフ』のほか、活動協力者として『(活動分野・関係分野の) 専門組織／事業協賛組織』、活動を母体的に支える『賛同者や地域住民の関心／協働体制』が欠かせない場合がある。また主体要件として、スタッフ側に『専門能力』が求められる場合がある。</p>	<p>●活動手段に係る要件としては、『活動時の作業・労役の対象となる物』に関する要件と、『活動時の作業・労役の手段（いわゆる材料・用具・機具など）となる物』に関する要件がある。</p>	<p>●活動に係る情報要件としては大きく3つある。一つ目は『活動時に順守すべき規定』や『活動内容を定めるプラン・プログラム』など活動準則に係る情報要件、二つ目は『活動知識の参照』や『活動PR・啓発』など受・発信情報要件、三つ目は活動関係者(主に主催側)の『情報共有』のための周知要件である。</p>	<p>●その他の活動要素として、『活動場所』に係る要件が必要な地域活動がある。</p>